

逆走警告について

高速道路で逆走のおそれがある場合は、逆走のおそれがある旨を警告します。
逆走警告は高速自動車国道で案内します。

- 高速自動車国道は、東名高速道路などの主要な高速道路を指します。
- 首都高速道路などの自動車専用道路は対象外です。

下記のような場合などでは、逆走していても警告案内を行わないことがあります。

- 地図ソフトに収録されていない道路、または形状が変更された道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)、その他特定のパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)内を走行しているとき
- 本機が故障しているとき
- GPS衛星電波が受信しにくい場所での走行や他の機器からの電波の影響(☞ P.18)、GPS衛星電波をさえぎる場所への取り付けなどで、GPS衛星電波が正常に受信できていないとき
- 地図画面に表示される現在地(自車)マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なUターンをしたとき
- 周囲に分岐車線・合流車線の無い本線上でUターンしたとき

下記のような場合などでは、逆走していなくても警告案内を行うことがあります。

- 地図ソフトに収録されていない道路、または形状が変更された道路を走行しているとき
- 地図画面に表示される現在地(自車)マークの位置と、実際の自車位置が違うとき
- 本機が故障しているとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりUターンをしたとき

クイックGPSについて

本機が過去6日以内に受信したGPS衛星データを用いて現在のGPS衛星位置を予測することにより、GPS衛星を捕捉しやすくし、本機を起動したときに捕捉までの時間を早めます。

本機を起動した時間が、過去6日以内にGPS衛星データを受信した時間帯と異なる場合、または前回起動から6日以上経過している場合には機能しません。

自律航法(Gジャイロ)とマップマッチングについて

GPS衛星電波を受信しにくい高架下やトンネルなどでも、本機に搭載のジャイロセンサーと加速度センサーを利用した自律航法で現在地を補正します。現在地が道路以外(例えば川の中など)になった場合は、マップマッチングで誤差を補正し、近くの道路上に現在地を表示します。

- 自律航法を動作させるためには、本機を付属の吸盤スタンドに装着し、正しい角度で取り付けてください。誤った角度で取り付けられた場合、自律航法は動作しません。(☞ P.23)
- 自律航法は、GPS衛星電波を受信してしばらく走行し、センサー学習をしてから動作を始めます。
- 自律航法動作時でも、GPS衛星電波を受信できない状態が長く続いたり、分岐のあるトンネルなどを走行中は、自車位置に誤差が生じたり停止する場合があります。